

基本計画の体系

誇りを持って暮らせるまち三木

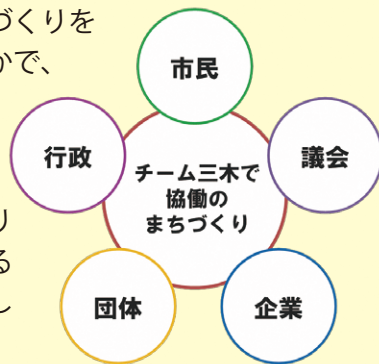
- 1 未来へつなぐ人と暮らしづくり
・結婚、出産、子育てを支えるまち
・豊かな学びで未来を拓くまち
・安心して暮らせるまち
- 2 安全・安心なまちづくり
・暮らしに必要な環境を整えるまち
・持続可能なまち
・防災のまち
- 3 いきいき輝く魅力づくり
・地域資源で人を呼び込むまち
・地域の魅力を伝えるまち
・地域の魅力を高めるまち

枠組みを超えて取り組む三木づくり

- ・分野横断プロジェクト
- ・地域の思いを形にする取組

チーム三木による計画推進

この新しい総合計画は、種々の課題が山積するなか、これまで市民と行政とが共に築き上げてきたまちの基盤の上に立ち、「チーム三木」による新たな協働のまちづくりを進めます。そのなかで、お互いに知恵を出し合いながら、地域の活力を高め、誰もが暮らしに誇りが持てる、魅力あるまちづくりをめざします。



まちの将来像

基本構想では、まちの将来像を、「誇りを持って暮らせるまち三木」・チーム三木（市民・議会・企業・団体・行政）協働によるまちづくりとしてしています。

人口の将来展望

国や県が推進する少子化対策を最大限に活用しつつ、市独自の子育て支援などに取り組むことで、子どもを産み育てやすい環境の、より一層

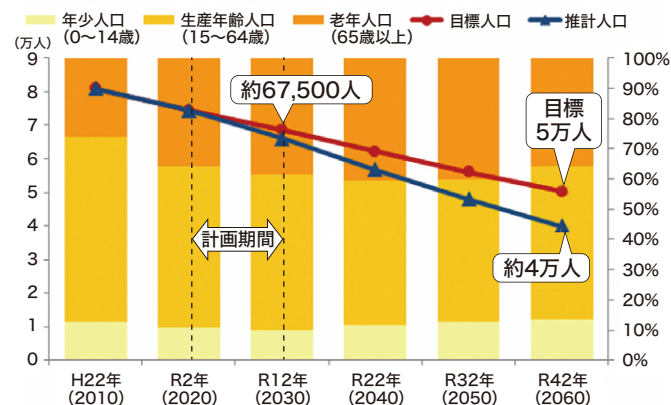
の充実をめざします。

また、本市から転出する若年層の方に対し、ふるさと回帰を促す魅力的な仕事の創出や情報発信などを促進します。

子育て支援の充実による子育て世代の転入促進と転出防止、移住希望者に対するI・Jターン※施策の充実などを図ることで、兵庫県が定める水準と同水準の社会増（転入▽転出）をめざし、三木市創生計画に示す2060（令和42）年に5万人の人口を維持することを目標とします。

※大都市の居住者が地方に移住する動きの総称

〈表〉人口の将来展望イメージ



まちの「これから」

～三木市総合計画(案)の概要～

問(市)企画政策課 企画政策係

市民と共に作る総合計画

全国的に急激な人口減少を迎えるなか、まちの活力を維持していくには、将来的な人口減少と高齢化に対応したまちづくりを推進するとともに、人口減少の緩和を図る必要があります。

そこで、本市は20～30年先の未来を見据えたなかで、市がめざす将来像や目標を明らかにする市政の羅針盤として2020年から10年間の「三木市総合計画」を策定することとしました。

総合計画の策定にあたり、これまで「市民アンケート」のほか、市内10地区で行った「市政懇談会」や「三木みらい会議」、市内の学生35人が参加した「三木若者ミーティング」を通じて市民の皆様から意見や提言をいただきました。

それらを踏まえた上で、公募市民や有識者などで構成された審議会での議論を経て三木市総合計画(案)を作成しました。

そして、今後この計画案についてのパブリックコメントを募集します。そこで得たご意見を元に最終案をま

計画策定の視点

新たな計画は、次の視点により策定します。

- ・人口減少に見合ったまちづくり
- ・未来を見据えた、市民目線による施策づくり
- ・「チーム三木」協働による、明るい未来を築ける計画づくり

これらの視点を具体化するため、「指標・目標値」を設定します。

計画の構成と期間

三木市総合計画は、基本構想および基本計画で構成します。

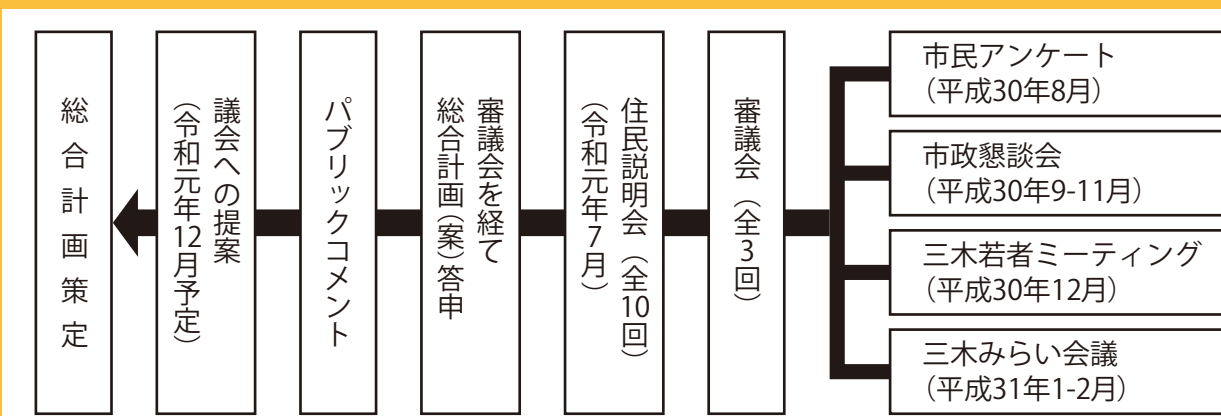
【基本構想(10年間)】

まちの将来目標を示し、総合的にまちづくりを進めていくための基本指針。

【基本計画(10年間・必要に応じて5年後に見直し)】

基本構想で示したまちの将来目標を実現するため、具体的な施策や展開などを体系別にまとめた計画。

総合計画ができるまで



パブリックコメントを募集

三木市総合計画(案)についてのパブリックコメントを募集します。

▼募集期間

9月18日(水)～10月18日(金)予定

▼案の公開場所

- ・市ホームページ
- ・市役所 3階情報公開コーナー
- ・市役所 4階企画政策課
- ・各市立公民館、吉川支所

▼意見の提出方法

公開場所にある意見提出用紙に記入の上、以下の方法にて提出してください。

- ・企画政策課の窓口へ提出
- ・市民の声の箱(各市立公民館などに設置)に投函
- ・郵送
- ・メール

左記のQRコードまたは、
publiccomment@city.miki.lg.jp
までメール送信

